

チェック! 株主通信

上場企業が株主に対して年2回程度送付している「株主通信（事業報告書）」は、安定株主を確保する上で欠かせないツール。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、株主総会を延期したり来場自粛を訴える企業が続出する中でも、株主通信は例年通りに配布されている。アイ・アール ジャパン ディスクロージャー事業部の佐々木雄介部長と関那木子主任、足立リサ主任に、株主通信の最新動向を聞いた。

——今年の株主通信には、何か変化がありましたか。

佐々木 企業によって内容は多彩ですが、今年はコロナ対策というイレギュラーな事態に直面したために、6月上旬の校了直前まで、最新情報の編集で苦労する企業が多くいたと思います。自社がどのようなコロナ対策の取り組みを行っているか、

公開できる情報の詳細をオンライン会議などで詰めるなど、これまで以上に発行体には苦労があったと思います。

関 株主通信でも統合報告書と同じようにESG（環境・社会・ガバナンス）情報を積極開示する流れが定着しています。今年は触れることができなかつた企業でも、次回からはコロナ対策

に言及する企業が増加すると思います。

足立 非常事態の中で予定していた記事の掲載を取りやめるなど、ページ数を減らす企業があり、コロナの影響がやはり大きかったと思います。その分、QRコードを掲載して詳細はウェブへ、とホームページへの誘導を図るケースが増えたと思います。

関 内容的には本業で社会貢献していることをアピールする企業が目につきました。デジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みは投資家が望む対話のトピックでもあります

ので、DXへの積極投資をアピールする企業が今後は増えると思います。

佐々木 株主通信の発行体は、個人株主に長期安定株主になってもらうことを期待しています。そのため若年層の株主の獲得が今後の課題の一つになります。若年層には特集記事などを通じた非財務情報の充実が有効ですが、株主優待の有無や内容が、投資のきっかけになることが多いのも事実です。株主通信では、従来の発想にとらわれず、ウェブなどの媒体を活用した対話のあり方を提案することも必要かもしれません。



証券コード 7521



当社は、業界トップの選挙機材や貨幣処理機器を製造販売するほか、文書のデジタル化事業、印刷機材、紙・紙加工品、業務用ろ過フィルターなどを取り扱っています。選挙機材事業ではウイルス感染防止対策として注力している投票用紙交付機をはじめ、読み取り分類機や計数機など投票事務の効率化機器や、開く投票用紙、投票箱等の用品、告知啓発商品まで総合的に取り扱い、国政選挙・地方選挙や国民投票にも対応しています。年次報告書では、決算情報と共に、事業の解説やユーザー情報を写真やイラストでわかりやすく紹介しています。

株式会社ムサシ
東京都中央区銀座8-20-36
広報室
電話: 03-3546-7710
<https://www.musashinet.co.jp>



リコーリース株式会社



当社は、リコー製品の販売支援を目的に設立以降、「リース・割賦事業」「金融サービス事業」を軸に、約40万社のお客様へ付加価値のあるサービスを提供してきました。中長期ビジョン「循環創造企業へ」を掲げ、事業活動を通じた社会課題の解決を図っています。年に2回発行している「事業のご報告」では、トップメッセージや業績報告をはじめ、当社やリース業界ならではの特徴や解説、新規事業の取り組みなどを掲載しています。当社の理解を深めていただくための冊子作りを心掛けていますので、是非ご覧ください。

リコーリース株式会社
東京都千代田区紀尾井町4-1
経営企画部
電話: 03-6204-0608
<https://www.r-lease.co.jp/ir/>



アンケートにお答えください

上記2社の株主通信を読んでアンケートにお答えいただいた方の中から
抽選で10名様にQUOカード5,000円分をプレゼントします。

応募方法

下記Webサイトからお申し込みください。

<http://adnet.nikkei.co.jp/> または「日経アドネット」で検索

締切日: 2020年9月18日(金)

日経ARアプリを上記2社の表紙写真にかざすと各社のIRページのコンテンツをご覧いただけます。アプリの詳細は「日経AR」で検索してください。

AR NIKKEI 日経AR

「日経AR」は無料アプリです。通信状況、端末、OSのバージョンなどによっては作動しない場合があります。